

上田市歴史的風致維持向上計画



上田市歴史的風致維持向上計画

令和5年2月

上 田 市

計画策定にあたって



上田市は、菅平高原や美ヶ原高原などの雄大な緑と、千曲川に流れ込む里川の清流など四季折々の豊かな自然環境が広がっています。中心市街地については、中世に上田城築城とともに城下町が整備され、近世には現在のまちなみの原型が形成されました。近現代以降も信越本線、新幹線の鉄道網を介して人・物・文化の交流が図られ、長野県東部の中心都市として発展の歩みを続けています。上田城跡の三棟の櫓をはじめ歴史的価値の高い建造物が数多く残り、祇園祭や三頭獅子などの祭礼行事等の伝統的な活動が今なお継承されている、歴史と文化が薫るまちです。

私たちのまちには、古くからある寺社、民家・商家といった建造物だけでなく、先人達の営みを刻む集落道、灌漑施設など、まちなりたちや経過を語り継ぐものが所々に存在し、そこで繰り広げられる祭礼などの伝統行事、経済・文化活動とあいまって、その地域ごとの個性や特性が紡ぎ出されています。このような本市が有する歴史的な風情や情緒を活かしたまちづくりを推進するため、上田市では、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）」に基づき本計画を策定しました。

本計画では、6つの歴史的風致を取り上げるとともに、多様にある歴史的文化的遺産を保存・継承しながら、地域のまちづくりと一体的に整備・活用する「歴史まちづくり」を通じて、魅力向上や観光の振興につなげ、地域活性化を図ってまいります。

本計画の推進により、市民一人ひとりが身近にある歴史文化を見つめ直し、郷土への誇りと愛着をもって後世に引き継がれ、未来につながる新たなまちの物語（ストーリー）が紡ぎ出されることを願っております。

結びに、本計画の策定にあたり、御助言いただきました上田市歴史的風致維持向上協議会の委員の皆様をはじめ、御意見や貴重な資料の提供をいただきました皆様に深く感謝申し上げます。

令和5年3月 上田市

上田市長 土屋 尚一

目 次

序章 計画の策定にあたって

1. 計画策定の背景	3
2. 計画策定の目的	4
3. 計画期間	4
4. 計画の策定体制	4
5. 計画策定の経緯	7

第1章 上田市の歴史的風致形成の背景

1. 自然的環境	11
2. 社会的環境	20
3. 歴史的環境	30
4. 指定等文化財	52

第2章 上田市の維持及び向上すべき歴史的風致

1. 城下町と周辺集落の祭礼・行事にみる歴史的風致	71
2. 塩田地域のため池群と神社仏閣にみる歴史的風致	107
3. 信濃国分寺にみる歴史的風致	132
4. 丸子温泉郷の営みと例祭にみる歴史的風致	145
5. 真田地域の集落の祭礼にみる歴史的風致	162
6. 武石地域の祭礼にみる歴史的風致	172

第3章 上田市の歴史的風致の維持及び向上に関する方針

1. 歴史的風致の維持及び向上に関する課題	181
2. 歴史的風致の維持及び向上に関する既存計画	183
3. 歴史的風致の維持及び向上に関する方針	194
4. 歴史的風致維持向上計画の推進体制	196

第4章 重点区域の位置及び区域

1. 歴史的風致の分布	199
2. 重点区域設定の考え方	201
3. 重点区域の位置及び区域	204
4. 重点区域における歴史的風致の維持及び向上による効果	207
5. 良好な景観の形成に関する施策との連携	207

第5章 文化財の保存または活用に関する事項

1. 市全体に関する事項	215
2. 重点区域に関する事項	221

第6章 歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する事項

1. 歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針	227
2. 重点区域における整備事業及び上田市の歴史的風致の維持向上に資する事業	228

第7章 歴史的風致形成建造物の指定の方針

1. 歴史的風致形成建造物の指定の方針	253
2. 歴史的風致形成建造物の指定要件・指定基準	253
3. 歴史的風致形成建造物の候補	254

第8章 歴史的風致形成建造物の管理の指針

1. 歴史的風致形成建造物の管理の基本的な考え方	261
2. 歴史的風致形成建造物の管理の指針	261
3. 届出が不要の行為	262

資 料	265
-----------	-----

表紙写真

上/信濃国分寺八日堂縁日

中/八日堂縁日図

提供/上田市マルチメディア情報センター協力

左下/上田城櫓門古写真

提供/上田市博物館蔵

序章 計画の策定にあたって

序章 計画の策定にあたって

1. 計画策定の背景

上田市の歴史は古く、奈良時代には国分寺、国分尼寺が建立され、信濃国で最初の国府が置かれた地と考えられている。鎌倉時代には、幕府の信濃守護職である北条氏が市内の塩田平に居を構え、三代 60 年に渡りこの地を治めたことで、全国から学問僧が集まり『信州の学海』と称されるほど繁栄した。そのため安楽寺八角三重塔（国宝）をはじめ、数多くの鎌倉時代の歴史的建造物や寺社が残されている。戦国時代の天正 11 年（1583）には、真田昌幸によって上田城が築かれ、城下町が形成されたことで、政治・文化の中心、物資の集散地としてその後長く栄えることとなった。明治から大正時代にかけては、全国有数の蚕種の生産地となり、「蚕都」として隆盛を極めた。また、当市中央に位置する千曲川に流れ込む神川、依田川、その支流の一带には集落が形成され、祇園祭や御柱祭をはじめとする祭礼、獅子舞や大神楽などの民俗芸能が営まれている。また、集落の中には人々の営みや祭礼に関連する歴史的価値の高い建造物が今も多く残されている。

これらの歴史的文化資源の魅力や価値を後世に継承するため、「史跡信濃国分寺跡 保存整備基本計画」の策定（平成 17 年（2005）3 月）や「史跡上田城跡保存管理計画」の策定（平成 24 年（2012）3 月）をはじめとした文化財保護の取組のほか、「上田市景観計画」の策定（平成 24 年（2012）12 月）や「上田市景観条例」の制定（平成 25 年（2013）3 月）など、さまざまな歴史まちづくりに資する取組を行ってきた。

しかしながら、生活様式の多様化や社会環境の変化に伴い、本市固有の歴史・文化は、後継者不足などの問題に直面し、喪失の危機も生じている。また、人口減少・少子高齢化の進行、SDGs や地球環境への意識の高まりといった情勢の変化に応じた都市構造の見直しが必要となってきた。

このようななか、文化財の保存・活用の実効性を高めるため、様々な人や組織による協働を強調した「上田市文化財保存活用地域計画」を作成（令和 4 年（2022）3 月）するとともに、地域の個性が輝く生活快適都市“上田”を目標に掲げ、平成 27 年（2015）3 月に策定した「上田市都市マスタープラン」を社会の変化にあわせ改訂を進めている。これらの上位計画にあたる第二次上田市総合計画では、都市将来像に「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健幸都市」を掲げ、市民とともに社会情勢の変化に対応した持続可能なまちを目指すとしている。

2. 計画策定の目的

本市を取り巻く状況を踏まえ「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（以下、歴史まちづくり法）」に基づき、次の目的のため本計画を策定する。

- 歴史的建造物や地域固有の活動・営みを明らかにし、それらを保全・継承することへの機運を高めるとともに、郷土の歴史文化に対する誇りを醸成し、住み続けたいと思えるまちの魅力を高める。
- 地域のまちづくりと一体となった歴史的文化的遺産の整備・活用を推進し、まちの個性と独自性を輝かせ、観光の振興及び交流人口の増大、ならびに市全体の活性化につなげる。

3. 計画期間

本計画の期間は、令和5年度（2023）から令和14年度（2032）までの10年間とする。また、必要に応じて計画の見直しを行う。

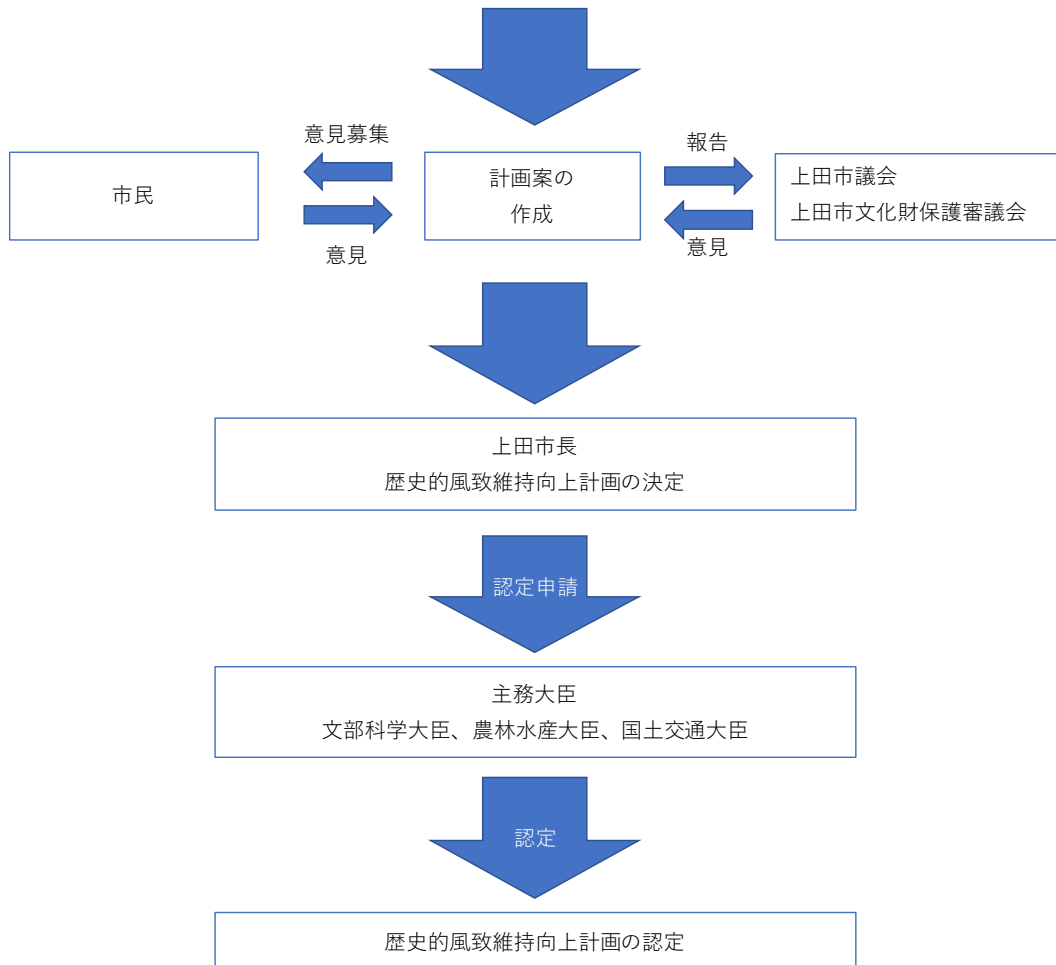
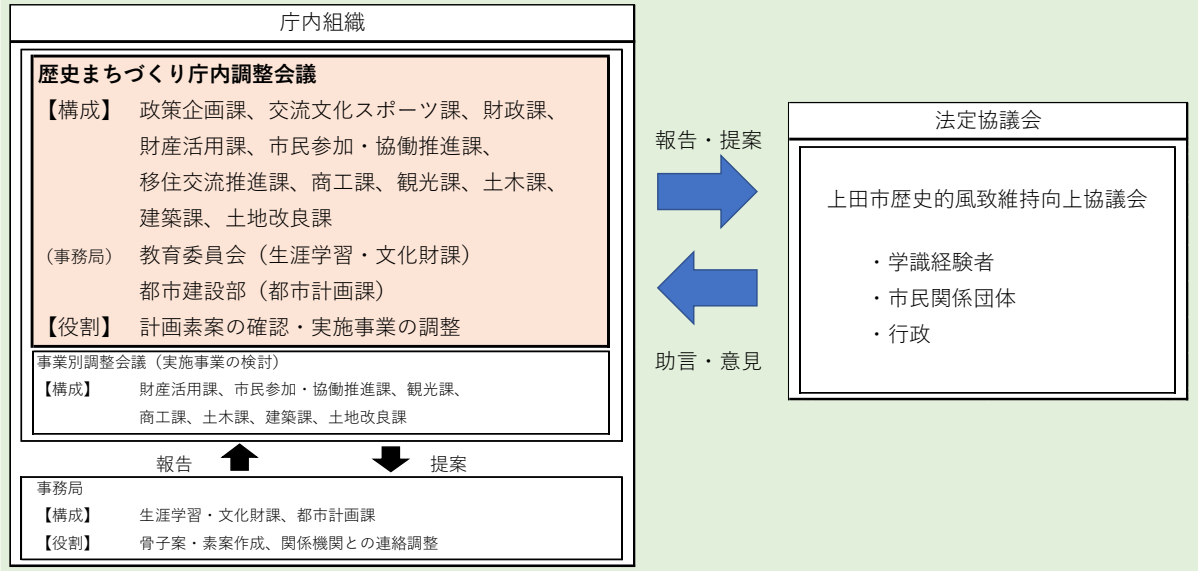
4. 計画の策定体制

生涯学習・文化財課と都市計画課を事務局とし、関係課により組織された庁内調整会議を開催して、計画案を作成した。

また、歴史まちづくり法第11条に基づく法定協議会として、「上田市歴史的風致維持向上協議会」を組織し、計画の検討や合意形成を図った。

パブリックコメントの実施による市民意見の収集や、上田市議会や文化財保護審議会への報告を行い、計画を決定した。

上田市歴史的風致維持向上計画 策定体制



上田市歴史的風致維持向上協議会

種別	所属・役職	氏名	備考
学識経験者	上田市文化財保護審議会（会長） 元長野県立歴史館学芸員	こ だま たかふみ 児玉 卓文	◎
	上田市文化財保護審議会 信州大学工学部教授	つちもと としかず 土本 俊和	
	上田市景観審議会（会長） 長野大学副学長・観光ツーリズム学部教授	くまがい けいすけ 熊谷 圭介	
市内関係団体等	中央地域の自治会連合会（末広町自治会長）	い とう かず お 伊藤 和夫	
	西部まちづくりの会 自然・生活環境部会	やまざき ひろし 山崎 洋	
	塩田平ため池を愛する会 （塩田平ボランティアの会） （塩田まちづくり協議会）	にしざわ むめ子 西澤 むめ子	
	長野県建築士事務所協会上小支部（支部長）	ながしま みつ お 長島 三夫	○
	上田商工会議所（副会頭）	かさはら しょう じ 笠原 章 嗣	
	小岩井紬工房 役員	こ いわ い 小岩井 カリナ	
	会社員 2級建築士	みやじま え み こ 宮嶋 絵美子	
	ALL 真田魂プロジェクト主宰 博物館協議会委員、山家神社宮司	おしもり まこと 押森 慎	
行政機関	長野県上田建設事務所長		
	長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課長		
	上田市教育委員会事務局 教育次長		
	上田市都市建設部長		
オブザーバー	国土交通省関東地方整備局 建政部計画管理課長		

委員 15 名、オブザーバー 1 名

◎：会長，○：副会長

5. 計画策定の経緯

日程	内容
令和2年11月14日	歴史まちづくり庁内調整会議
令和3年3月	上田市文化財保護審議会（書面開催）
令和4年1月13日	市政経営会議
令和4年1月31日	歴史まちづくり庁内調整会議
令和4年3月14日	第1回歴史的風致維持向上協議会
令和4年4月18日	第2回歴史的風致維持向上協議会
令和4年8月9日	第3回歴史的風致維持向上協議会
令和4年9月16日 ～10月16日	パブリックコメント
令和4年10月19日	歴史まちづくり庁内調整会議
令和4年11月10日	第4回歴史的風致維持向上協議会
令和4年11月28日	上田市議会報告
令和5年2月15日	認定